

会 議 事 録

			記 録 者	主幹 染谷 優一	
供 覧	部長	課長	補佐	係長	G員
件 名	平成30年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成30年12月19日（水） 午後3時00分から午後4時00分				
場 所	市役所5階 第1委員会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	<p>中山市長，平塚教育長，斎藤教育長職務代理者，大野委員，高橋委員，岡澤委員</p> <p>川村副市長，龍崎市長公室長，森田企画課長，岡野企画課長補佐，記録者松尾教育部長，飯田教育総務課長，蔭山教育総務課長補佐，関ヶ原教育総務課長補佐，近野教育総務課主査，梁取文化・生涯学習課長，坪井国体推進課長，小林指導課長，松谷教育センター所長，神永学校給食センター所長</p>				
欠席者	なし				
傍 聴	なし				
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 議 題 愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討について</p> <p>4 閉 会</p>				
情報公開	<input checked="" type="radio"/> 公 開 <input type="radio"/> 部分公開 <input type="radio"/> 非 公 開	<input type="radio"/> 非公開（一部公開を含む）とする理由 <input type="radio"/> 公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当） 年 月 日	

<p>事務局</p>	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今より、平成30年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、中山市長がご挨拶を申し上げます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>改めまして皆さんこんにちは。</p> <p>本日は、総合教育会議ということで、教育委員の皆様におかれましては、教育委員会がまだ終わったばかりということで、色々ご多忙の中、お集まりをいただきまして、ご出席をいただきましたことを心から感謝申し上げます。</p> <p>本年4月から岡澤明子委員をお迎えして、本日初めての総合教育会議となりますので、これまでの子育て、PTA等々、積み重ねてきたご経験を生かして、龍ヶ崎市の子どもたちの教育のために様々な形でご意見、ご助言をいただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本年も間もなく終わりを迎えますが、平成30年度としては、これが第1回の総合教育会議になるわけでもございます。</p> <p>昨年度においては、龍ヶ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針についてご協議をいただき、本年3月に同基本方針が策定されたところです。</p> <p>本日の議題となっております、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討については、今、申し上げました本市の新しい学校づくりに向けた取組の一つとして、位置づけていかなければならないものと考えております。</p> <p>教育委員の皆様におかれましては、色々な所で様々な声を聞いていらっしゃるかと思います。</p> <p>この取組に対しまして、忌憚のないご意見、ご提案をいただければと考えているところです。</p> <p>現実には、我々が心配している間に、ますます厳しい方向に進んでいるというところもございます。</p> <p>この後、色々ご議論をいただくところだと思っておりますが、ここにもOBの方がいらっしゃいます。伝統の野球部が両校、存続の危機に陥っているというような話を聞くところでもありますので、やはりその伝統をいかに守っていくかというのがございます。また、子どもたちが色々な選択肢を持った中で、学校教育における部活動も含めて、様々な挑戦ができる体制をどのように整えていくかが子どもたちのために一番大切なことなのだろうなと思っているところでもございます。</p> <p>この総合教育会議におきましては、そのような意味でも本当に貴重な議論の場だと思いますし、今後も龍ヶ崎市の教育環境のさらなる充実に向けて、この総合教育会議がしっかりと役割を果たしていくことができるよう、皆様にも引き続きご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、総合教育会議の主催者であります中山市長にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、それでは着座のままで議事進行の役目を務めさせていただきます。</p> <p>慎重審議の上で円滑なる議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですが、本日の議題に入ります。</p> <p>会議次第に基づきまして、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討についてでございます。</p> <p>皆様にご協議をいただきたいと思っております。</p> <p>本日の会議時間については、午後4時の終了を予定しておりますので、ご協</p>

	<p>力をよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>それでは、議題の愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討について担当から説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
中山市長	<p>只今、担当から説明がございましたが、この愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討ということで、委員の皆様からご意見やご提案をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>はい、大野委員お願ひいたします。</p>
大野委員	<p>まず、この検討委員会についてですが、検討が始まった中で委員会のようなものを立ち上げて始まったのか、それとも単に教育委員会の中で、担当者が主導となって行っているという点ですが、つまり城南中学校の先生やPTA関係者、愛宕中学校の関係者が入った上での検討委員会で動いているのか。</p> <p>まず、どんな形で動いたか教えていただければと思います。</p>
教育総務課	<p>はい、教育総務課の飯田です。</p> <p>現時点では、統合の方針案を作るまでは、教育委員会の方で今説明をいたしました。が、課題整理をしており、地域の関係者の方にヒアリング等を実施しておりました。</p> <p>先程の説明にもありましたが、今年度末には、その方針案を作成して以降、今後、具体的な統合に向けた取組を始めますので、そこからはある程度、組織だった体制が必要かと考えております。</p>
大野委員	<p>わかりました。そうすると、愛宕中学校の関係者の中でも、先生たちは、ある程度その点の把握はできると思いますが、保護者たちがそういった話が出てくると結構、不安な気持ちの方が先行していってしまうのではないのかなと思います。本格的にどうしていくのか検討するとなれば、早めにそのような正式な組織のようなものを立ち上げるというような動きがあった方がいいのではないのかなと思います。</p>
中山市長	<p>只今、ご提案がありましたが、それについて何かございますか。</p>
教育総務課	<p>これまで、資料にある通り、PTAとか各学校と地域コミュニティ関係者には、説明を行った上で意見を聞いております。</p> <p>その中で、平成34年4月の統合を目標として考えている旨の説明もさせていただいております。</p> <p>統合を進めていく話は、各方面で話をしても差し支えない旨を話しておりますので、ある程度、地域の方には、統合の検討が始まったことについては、浸透してるかなと考えております。</p> <p>その統合に向けた組織については、今後早い段階で検討させていただきたいと考えております。</p>
中山市長	<p>よろしいでしょうか。</p>
大野委員	<p>その中で、今、平成34年度を目標に統合を予定しているという話がありましたが、この表を拝見すると、平成34年に統合したとしても2年後には279</p>

	<p>人となり、城南中学校でいえば、現在の4年前とほぼ変わらない状況です。</p> <p>統合したとしても、2、3年後には、数年前の城南中学校規模の学校になってしまうのではないかという気がしますので、実施するなら早い段階が望ましいと思いますし、また違う区域での統合という視点も必要なのかなとこの表から感じたところです。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。今の件に関してはよろしいですか。</p>
<p>松尾部長</p>	<p>地域に関しては、やはり龍ヶ崎市全体の計画といたしますか、まちづくりの基本方向を示す戦略プラン、あるいは都市計画マスタープランというのがあって、それで、将来的にはこういうまちづくりをしていくというエリアを設定しております。</p> <p>その中の一つが龍ヶ崎市街地で、今回の愛宕中学校や城南中学校の学区になると思われます。</p> <p>そういう考えもありまして、長期的な話になりますが、おそらく中学校というのは、それぞれの市街地に概ね1箇所なのかなという考えがあります。</p> <p>一方で、統合するとなると市の全体のまちづくりとの整合性が問われるというか、齟齬が発生してしまいますので、大野委員が心配されるように、確かにその愛宕中学校、城南中学校を統合しても、この先々、生徒数の減少が見込まれるので懸念はしておりますが、これを一足早く進めて、違う所でという話になると、大きなまちづくりとの齟齬が発生しますので、そこは慎重にいかなければならないのかなと思っております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今、都市計画マスタープランの話もありましたが、今、多極ネットワーク型コンパクトシティというのを目指して、立地適正化計画というのも策定を進めています。</p> <p>これに関しましても、この4地区としての市街化区域、1万人以上の人口が集まっているこの4地区を繋いでいき、いかにコンパクトシティを目指していくかという話をしているところでもあります。</p> <p>あとは、やはり昨年度ご協議いただいた新しい学校づくりに関する基本方針でも再三、私も思いを申し上げてきたところですが、やはり最終的には、この中学校の統合が目的ではなくて、小中一貫ということでこのエリアの中での施設一体型のモデル校を目指していく、その過渡期の小中学校の統合というような位置付けになるのかなと思っております。</p> <p>魅力的な学校づくりにおいて、龍ヶ崎市でもモデルとなるような学校づくりをすることで、転入人口も増えて、子どもが減らないようにしていくというの、龍ヶ崎市全体のまちづくりからすると、大切な視点なのかなと思います。</p> <p>そういう意味でもやはり、少子化が進行しているといった大変深刻な問題に直面していますが、その中でも子どもの減らないような取組という意味合いが含まれていると考えているところでもございます。</p> <p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。斎藤委員、いかがですか。</p>
<p>斎藤教育長 職務代理者</p>	<p>検討作業については、これから年度末に向けてまた一つの方針がはっきり明確になっていくと思っておりますが、まち全体のまちづくりの問題等も含めて、非常に重要な課題として愛宕中学校と城南中学校の統合という形がある程度、目に見えた形で出てくると何となく重要性も感じるし、今回いろいろご意見もらった方もある程度、コミュニティやPTA等、その点について市の方針について聞いていると思っておりますので、今後、ある程度、明確になればもう少し広げて</p>

様々の声を聞く機会が多くなっていくのかなと思います。

そのためにこれから何を作っていくのかというのが、非常に大事になってくると思います。

現状でも、6クラスという問題を含んでいくと、大変学校としては、苦しい現状でもあるのではないかなと思います。

その辺は、目に見えない部分ですが、理想型の9クラスと比べると、教職員配置の問題については、先生方が大変過酷な毎日を過ごして、1人の負担が大きいのかなという気がいたします。

これからいかに良い知恵を出し合って、早い段階において皆さんの合意を得ながら、良い方向に進めていければと思っております。

資料については、私が読んだ中で、先程の教職員における定数の問題ですが、私も実際経験しておりますので、その点についてもう少し調査等を進めていくことも大事なのかなと思います。

現状において中学校の6クラス、または理想的な9クラス以上ということを経験した時の教職員の配置ですが、結局、先生方は時間割で過ごしております。

時間割について、29コマで、例えば1人で国語を受け持つとそれだけ18から19程度の授業を担って、それ以外には、特活や道徳を行ったり、その他、委員会活動、クラブ活動となるとほとんどコマに空きがありません。

中学校については、空き時間等が非常に大切に、そこで教材研究や準備を行ったりしている部分がありますので、そういう教職員の立場からすると、そのようなデータをもう少し揃えてもらえると、もう少し見える部分もあるのかなと思います。

6クラスや9クラスの場合での1人の持ち時間についての問題と教科によっても全然違ってきますので、非常に私自身としては危惧するところで、この部分は少し見えにくい所がありますので、少し意識していただいたらありがたいというのが感想です。

中山市長

はい、ありがとうございます。

平塚教育長

資料の10ページに教職員の配置の数が、モデル的な教職員配置の例が挙げられていますが、5学級となると、明らかに正規の先生が美術とか家庭科に手が回らない部分が出てきます。その空白部分については、非常勤講師を配置するしかありません。

非常勤講師で、他の学校と掛け持ちで勤務しているケースとしては、現在、城南中学校の家庭科がそのような状況です。

牛久市と龍ヶ崎市で勤務し、家庭科を担当しておりますが、その学校で5時間程度しか行っていないことから、いくつか掛け持ちできるということになります。

ただ、正規の先生ではないので、常勤でない6学級についてもそれに近い状態で、さらにこの人数の中で、教務主任を入れなくてはいけないんですね。

あまり授業を持っていない教務主任や生徒指導主事がこの配置の中に誰か入るしかない。そうすると、他の先生が免許外で数学を教えなければならないのが、この5学級、6学級になった場合に発生してきます。

人事をやってきた立場として考えるのは、この学校の場合は新採を入れることができません。たった一枠しかないところに、新採を入れると大変なことになってしまいます。やはり、この学校の場合は、個別の教科、国語や数学がベテランの先生しか配置できないと思います。さらに女性の先生には、大変申し訳ないのですが、若い女性の先生が赴任した場合、結婚、妊娠があって、産前

	<p>産後休暇、育休まで取得すると考慮した場合、そういったケースの場合は若い女性の先生は配置できないので、年配の女性の先生を配置するといったことになってきます。そうすると、その学校は非常に平均年齢が高くなってしまいうというのが、この人数の少ない学校の結果的な特徴になってくるかと思えます。</p> <p>そうなるとやはり、現在の愛宕中学校、城南中学校はこの6学級の位置付けになっておりますので、非常に苦慮しているところであることは間違いありません。現在も働き方改革等で、非常に厳しい時代になってきて、精神疾患を発症して療養休暇になってしまう先生がいらっしゃいます。</p> <p>そうなった場合、長期休暇となると、その間、療休補充だとか、休職補充だとか、そういう先生も非常に多いというのも現状でございますので、こういった部分でやはりどうしても9学級を位置付けていくのが肝要かなと思えます。</p> <p>なぜ平成34年度を目標に統合していくかということですが、平成34年度は愛宕中学校が1学級、城南中学校が2学級、これで1学年84人という学年ができてしまいます。</p> <p>通常は、80人以下だと2クラスになってしまいますので、私立の中学校や並木中学校等、そのような学校に10数人入学することを考慮すると、学年で3学級を維持できないような学年であるということはここで分かります。それであれば、この平成34年度の段階では、魅力ある龍ヶ崎の教育をPRして、こちらの学校の方に入っていただくようなことを今後も考えていく必要があるのかなと、この数字から何となく読み取れるところでございます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今、お二人の委員から、お話をいただきましたが、これに関する事やそれ以外でも構いませんので、何かあれば、お願いいたします。</p> <p>はい、岡澤委員どうぞ。</p>
<p>岡澤委員</p>	<p>私は長戸小学校出身でございまして、娘が最後の卒業生でもあります。長戸小学校が統廃合になる時も、ものすごい回数話し合いを重ねました。当然、反対派も出てくるかと思えますが、少しでも色々な方面で聞き取りをしてもらって、市民が納得できるような結果が出ればいいなと思えます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。他に、どうですか、はい、高橋委員。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>もう明らかに統合をせざるを得ない状況で話が進んでいるわけですので、まずは、統合ありきの時に何を考えなければいけないのは、まずは生徒の視点に立って考えた時に、もちろんメリットデメリットの両方があるとしても、メリットの方はどういうことがあるということを明らかにしたりする必要があると思えます。例えば、この資料の中でもありますが、やはり少ない人数で閉鎖的な環境の中に、学校生活を過ごすよりも多くの生徒がいた方が子どもたちにとっては確実に良い環境であるし、教職員が多ければもちろん子どもたちにとっても良い環境であると思えます。</p> <p>例えば、先程の人事の関係にしても、先生方にとっても教職員が多ければ、色々な先生を入れることができるわけです。</p> <p>例えば、統合するに当たってまちづくりの視点である時にどちらの中学校がいいのかという問題もまた出てくると思えます。</p> <p>したがって、その時に基準になる物差しというのは、また違ってくると思えます。この統合において、皆さんでこれだけ色々考えていらっしゃるの、それぞれの立場、それぞれの視点で考えた時に、色々な見方があるので、どうしてもそこで意見のすり合わせをすることが難しくなってきます。</p> <p>やはり一番大切にしなければいけないことを、みんなで話し合う必要があります。</p>

	<p>ますが、何よりも子どもたちにとってどの環境が一番ベストなのか、一方で何を解決していかなければならないのか考えていく必要があると思います。</p> <p>例えば、通学路であるのか、それとも施設面であるのか、そのような事柄を一つ一つみんなで考えていくしかないのかなということを感じました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、委員の皆様から色々ご意見をいただきましたが、それに関する事でもその他でも何かございましたら、引き続きお願いいたします。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>1点だけ質問があります。</p> <p>資料14ページの中ほどに城南中学校のメリット、デメリットで最後の2行目に教職員が、生徒一人一人を理解できにくくなるというのは、なぜ理解できにくくなるのか、少しここの文章の意味が分からないので、教えていただければと思います。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>城南中学校、愛宕中学校においてもそうですが、このメリット、デメリットについて学校の方から、文書で回答があった中で、これは推測になってしまっていますが、生徒の数が多くと教職員1人に対して生徒と接する時間が少なくなるということで、生徒個人に対する理解ができにくくなるというそういう意味合いではないかと考えております。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>今の説明だと、今を基準にして考えていらっしゃるんですよね。</p> <p>そういうことであれば、一つ一つ確かに今の基準から見たら、一人一人に目をかける時間とか少なくなってデメリットかもしれませんが、やはりその辺の意識も少しずつみんなで変えて一緒になることを目指して、今から少しずつやっていきましょうとかそういう働きかけも必要ではないかなと思いました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。これについてはよろしいですか。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>今も色々お話がありました。私としては、このヒアリングの内容を見て感じたのが、意外と皆さん冷静に今回の話を受け止めていらっしゃる方が多いのかなという印象を受けました。</p> <p>先程、岡澤委員からありましたが、やはりどうしても統合の話になると、感情的な話になる場合もあると思いますが、ヒアリングした中にはそんなに見受けられないということもあって、むしろ逆に段階的にやっていくことに賛同されている声もあります。一方で、もう統合するのなら、もう最初から小中一貫教育として施設一体型を最初から目指したほうがいいのか、二段階というのは、やはり子どもたちが落ち着かなくて、心配だという声もあつたりいたします。</p> <p>毎年、子どもたちが中学校を卒業していってしまうわけで、やはり早く形を作っておきたいという思いもありますが、一方でおそらく、中学校に入って3年間は、また新たな義務教育学校ということにはならないと思いますが、いわゆる施設一体型の小中一貫校を目指すのであれば、段階を踏むことによって、それが少し先延ばしになるような気もしないでもないという思いもあります。</p> <p>ただ、やはり時間をかけるべきところはしっかり時間をかけていかなければならないと思います。</p> <p>その他、市の財政状況といった色々な条件も絡んできますので、そう簡単には時期を早めることも難しいという現状もあります。</p>

	<p>そんな中で、こういう意見を聞いて私も意外と皆さん冷静に受け止められているので、その点について皆さんのご感想、ご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>平塚教育長</p> <p>施設一体型の学校になると、小学校の担任が中学校の家庭科を教えてほしいといったいわゆる兼務発令ができますので、全ての部分で一挙に解決できるような問題もあるかなと思います。</p> <p>場合によっては小学校の担任が、中学校の部活動をサポートすることも可能になってくるのかなと思います。</p> <p>ただ、そうなる意外にそういう学校は人気がなくなってしまって、先生方があまり異動したくなくなってしまうということもあるのではないかと思います。もう一つ言えることは、このような龍ヶ崎の学区というのは、茨城県内では非常に珍しい学区で、小学校を卒業した生徒がこれだけたくさんの中学校に分かれるのは、稀なケースです。</p> <p>この問題は、中学校の統合以上に大きな問題であると思います。</p> <p>川原代小学校の場合で言うと、愛宕中学校や城西中学校に通学することになります。</p> <p>龍ヶ崎小学校や龍ヶ崎西小学校の場合は、城南中学校や愛宕中学校に通学します。かつての馴馬台小学校もそういった狭間の学区であると言えます。したがって、人数は少ない場合でも色々な選択肢があったり、なかなか教育委員会もこの点については、苦慮するところもあると思います。</p> <p>まず、小学校から考えていくと、この問題に関しては、何も先に進まないという危険性もありますので、明確に言えることは、まず一番やりやすいのは中学校で、その上で小学校については、今後検討していく上で、皆さんからの意見をいただく機会も必要であると思います。</p> <p>龍ヶ崎西小学校が北文間小学校と統合して、もう2年経ちますが、大変子どもたちの活動が目に見えて何かパワーが出てきたかなという感じもしないわけではありません。</p> <p>授業を見ていても、そこに人や先生も集まり、今まで以上に前向きな学校になっていると思います。元々あったところに、北文間地区の子どもたちが融合することによって良い効果も出ています。そういった先行事例もありますので、小学校については、今後、学区審議会等で本格的な検討段階に入っていく必要があるのではないかと考えます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今後、龍ヶ崎市の学区を考える上で大変大きな契機となるのではないかとのお話でしたが、今の教育長の話について何かございますか。</p>
<p>斎藤教育長 職務代理者</p>	<p>私もできるだけ早く統合していったほうが良いという考えには違いないのですが、最初の目標が平成34年度ということで、人数の関係や移行期間を考慮した場合、それぐらいは必要であろうと思います。まず、それをどううまく実現していくかは、今、教育長がおっしゃったように小学校の学区の問題を含めて、小学校の統合をどう考えていくか。</p> <p>その中に施設一体型の学校を入れていく方が段階的にはいいのではないかと思います。</p> <p>一気に施設一体型でいくというよりは、まずは中学校を移しながら、その段階で先を見通そうということと平成34年度がいいか、もしくは前倒して平成33年度ぐらいがいいのかという問題も出てきますが、こういう人数の関係からすると、平成34年度が一番相応しいのかもしれませんが、ある程度、気</p>

<p>中山市長</p>	<p>運が高まれば、きっと早めることもできるのかなという思いはいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。他にご意見はございますか。</p> <p>今、お話にもありましたが、現実の方が先にどんどん進んでしまって、子どもたちが割を食ってしまうというのが、子どもたちにとって、不利な状況に置いてしまっているのかなという気がいたします。</p> <p>子どもたちは、どんどん成長していくわけですし、3年後となるとやはり一番慎重に考えなくてはいけないのは、統合に絡む今の小学校4年生から6年生の子どもたちになってくるのかなと思います。</p> <p>小学校3年生から5年生の子どもたちについては、まず統合することを理解して、認識していかなければならないのかなと思います。</p> <p>そういったことは、この総合教育会議でご審議いただいて、正式にこの話が一步前へ進み出すときには、そのような点についても配慮していかなければならないと思います。</p> <p>色々な意味で、そういった配慮する面においても教育委員の皆さんから知恵をお借りして、ご指導いただければと思います。</p> <p>他にございますでしょうか。はい、お願いします。</p>
<p>大野委員</p>	<p>総体的な話になりますが、市長が目指す魅力的なまちづくり、都市計画にかかってくるのかなという気がします。</p> <p>これから大宮小学校、龍ヶ崎小学校、龍ヶ崎西小学校が中心となって、5、6年先を見据えた小中一貫を目指す考えがあると思いますが、小中一貫をこの区域で実施したからといって、飛躍的にその未来が広がるかという、そうでもないと思います。実施したはいいが、再度、見直しをかけることがあってはならないと思いますので、都市計画としてのまちづくりというのを絡めて検討していただくよう、お願いできればと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>本当にそうですね、少子化が深刻になっている中で、今回統合しても、その小規模化の流れは、止められるかどうかは本当に不安になるような状況でもあります。そういった意味では、まちづくりの方が、頑張っていかなければいけないと思いますし、今、ちょうどお話もありましたが、都市計画法上では市街化区域に城南中学校がありますので、比較的利活用しやすい場所になるということもありますので、そういった点も将来的にはきっかけになってくるのかなという思いもあります。</p> <p>今回いただいたご意見の中で、市街化区域というお話もいただきましたが、やはりその点に関しても、皆さん大変冷静なご意見をたくさんいただいているところがございます。</p> <p>やはりこの話をすると、皆さん一番関心が強いのがどちらに統合していくのかという話かと思いますが、これについて、ぜひ皆様から色々な知恵をいただければと思いますが、ご意見いかがでしょうか。</p>
<p>大野委員</p>	<p>言いづらい部分だと思いますが、やはりこの資料を見ると、通学の基準で見ると、愛宕中学校しかないのかなという印象を私は受けました。</p> <p>やはり一番は、通学の面で5.5km～6km以内の基準に満たしている部分を考えると満たしていないし、何か特別なことがない限りは、愛宕中学校になるのかなという気がします。</p> <p>私は、城南中学校出身ですので、どちらかという城南中学校を残してもらいたいという思いは個人的にあります。保護者の方々からの意見等、色々な</p>

	<p>面を考慮すると、何となく愛宕中学校の方が良いのかなという感じがいたしました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>今年の夏は特に暑かったと思いますが。暑さの面で挙げると、例えば終業式を行った城南中学校の体育館はものすごく暑かったですが、愛宕中学校はさほど暑さを感じなかったと聞きました。</p> <p>愛宕中学校の体育館は窓を開ければ風通しが良く別に特段変わりないとのことでしたので、やはり立地条件とか子どもの生活環境の中でどうなのだろうかと思います。私は、愛宕中学校で生活したり、学習の指導をする機会がなかったため、どれほどの気候条件というのは分かりませんが、そういった部分の違いもあるだろうと思います。</p> <p>一方で、愛宕中学校へ行くには坂を上がらないといけないという部分については、非常にネックになってくるのかなという気がします。</p> <p>その点、城南中学校であれば特に問題なく行けたりしますので、そういった利活用の面等、いくつかの項目の視点の中で最終的には、いわゆる根拠立てして、結論を出すという作業が必要かなと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。これまでの意見も踏まえてでも結構でございます。よろしいでしょうか。</p> <p>長戸小学校や北文間小学校は、創立100何十周年ということで、もう80歳、90歳のおじいちゃん、おばあちゃんが残して欲しいというノスタルジ的な話もありました。</p> <p>今、大野委員の話にもありましたが、やはり心情的には寂しいというのがありますが、合理的な方を選ぶべきなのではないかというご意見もたくさんあります。今、教育長のお話からもありましたが、市内にある高校は、なぜか高台の上にある学校が多いような気がします。</p> <p>愛国学園もそうですし、あまり教育環境が良すぎて眺めがいいと勉強に集中できないのではないかというご意見もありますし、色々なご意見はあると思います。そのようなことも踏まえながら、今後決定していかなければならないということもありますので、ぜひその点については、委員の皆様にもしっかりとこの課題について、留意いただき、今後も色々なご意見をいただければと思います。</p> <p>一応、時間にはなりましたが、他にございますでしょうか。</p> <p>事務局からは特に補足等ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは慎重審議、様々なお話を聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事が終了となります。</p> <p>次回の総合教育会議ですが、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた方針案について、協議をいただくこととなります。</p> <p>よろしくお申し込み申し上げますとともに、またそれまでの間、先生方や委員の皆様におかれましても、色々な情報収集も含めてご検討いただければと思います。</p> <p>それでは以上をもちまして、私の議事進行のお役目を終わらせていただきます。</p> <p>皆様の慎重審議に感謝申し上げます、終わらせていただきます。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>はい、皆様大変お疲れ様でございました。 以上をもちまして本日の会議を閉会させていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>
------------	---